

シラバス

2022年度版



鍼灸マッサージ東洋医療科 2年

学校法人 赤門宏志学院

赤門鍼灸柔整専門学校

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	阿部 康一	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年
科目名	心理学	曜日・時間	月曜日 9:10～

【授業概要・目標】

捉えどころのない「心」の起源を多角的に検討、人の表現型としての行動や能力などから「心」の概念を理解できるよう教授し、医療現場における人間関係及び患者理解の一翼を担える資質の定着を目指す。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	心理学は科学か似而非科学か
2	人類史からみた心の起源
3	脳の局在機能と心との関係
4	脳と感覚知覚の関係
5	Personality研究の歴史の変遷
6	Personalityの捉え方と分析方法
7	Personality検査の妥当性と信頼性
8	Personality検査testの実際
9	知的能力研究の暗黒の歴史
10	知能概念の不確定性と虚構
11	知的能力の発達と教育
12	知能測定(数値化)の曖昧さ
13	The Genius Factory(天才製造)
14	Epigenetics(遺伝環境論)
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	記憶研究の歴史と記憶術
2	記憶の過程と時間的変異
3	学習と行動形成の過程
4	学習と発達の関連性(発達再考)
5	学習研究と教育の不整合
6	非言語・言語Communication
7	対人Communication
8	対社会Communication
9	異常と正常の心的世界
10	Bernard・Cannon内部環境平衡論
11	Selye Stress学説と心身医学
12	心的異常と障害の症例
13	心的異常と障害の臨床的対応
14	心身医学と東洋医学の接点と展望
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	期末試験の結果により評定(欠席数を加味する)
授業の進め方	通常講義形式・検査テスト実施・実験・VTR視聴
注意 (学生に望むこと)	「人」を理解できる医療従事者になるという自覚をもって受講いただきたい。
テキスト・参考書	毎講義テキスト・資料をプリントにて配布・参考書不要

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	三保 翔平 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年
科目名	臨床経穴論	曜日・時間	月曜日 10:50～

【授業概要・目標】

経絡経穴の基礎知識を深める事と、臨床的な知識を身に付ける。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	経穴の学習法、手の太陰肺経
2	手の陽明大腸経
3	足の陽明胃経
4	足の太陰脾経
5	手の少陰心経
6	手の太陽小腸経
7	足の太陽膀胱経
8	足の少陰腎経
9	手の厥陰心包経
10	手の少陽三焦経
11	足の少陽胆経
12	足の厥陰肝経
13	前期復習
14	前期復習
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	奇経 衝脈・陰維脈
2	奇経 帶脈・陽維脈
3	奇経 督脈・陽蹻脈
4	奇経 任脈・陰蹻脈
5	奇穴
6	奇穴
7	身体部位に基づく配穴法
8	特定穴による配穴法
9	臨床的な経穴の運用
10	治法八法、虚証の治法と配穴
11	実証の治法と配穴
12	臓腑に対する治法と配穴
13	六淫に対する治法と配穴
14	症候に対する治法と配穴
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	定期試験の点数
授業の進め方	板書、パワーポイントの活用
注意 (学生に望むこと)	板書の記録
テキスト・参考書	経絡経穴概論

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	専任教員	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年
科目名	臨床実習Ⅱ	曜日・時間	月・金曜日 3・4時限(前期)

【授業概要・目標】

①患者と適切なコミュニケーションがとれる。②施術準備ができる。③基本的な事項について診療録に記載ができる。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	臨床実習前授業(Ⅰ)
2	臨床実習前授業(Ⅱ)
3	臨床実習(1)
4	臨床実習(2)
5	臨床実習(3)
6	臨床実習(4)
7	臨床実習(5)
8	臨床実習(6)
9	臨床実習(7)
10	臨床実習(8)
11	臨床実習(9)
12	臨床実習(10)
13	臨床実習(11)
14	臨床実習(12)
◆	—
15	臨床実習(13)

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	臨床実習(14)
2	臨床実習(15)
3	臨床実習(16)
4	臨床実習(17)
5	臨床実習(18)
6	臨床実習(19)
7	臨床実習(20)
8	臨床実習(21)
9	臨床実習(22)
10	臨床実習(23)
11	—
12	—
13	—
14	—
◆	—
15	—

評価方法	知識の習得・身だしなみ・参加意欲などを総合的に評価する。
授業の進め方	臨床に必要な知識の習得、施術見学、環境整備、施術準備(補助)などを中心に行う。
注意 (学生に望むこと)	積極的に実習に参加してもらいたい。
テキスト・参考書	なし

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	専任教員	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年
科目名	臨床実習Ⅲ	曜日・時間	月・金曜日 3・4時限(後期)

【授業概要・目標】

①患者と適切なコミュニケーションがとれる。 ②施術準備ができる。 ③基本的な事項について診療録に記載ができる。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	臨床実習前授業(Ⅰ)
2	臨床実習前授業(Ⅱ)
3	臨床実習(1)
4	臨床実習(2)
5	臨床実習(3)
6	臨床実習(4)
7	臨床実習(5)
8	臨床実習(6)
9	臨床実習(7)
10	臨床実習(8)
11	臨床実習(9)
12	臨床実習(10)
13	臨床実習(11)
14	臨床実習(12)
◆	—
15	臨床実習(13)

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	臨床実習(14)
2	臨床実習(15)
3	臨床実習(16)
4	臨床実習(17)
5	臨床実習(18)
6	臨床実習(19)
7	臨床実習(20)
8	臨床実習(21)
9	臨床実習(22)
10	臨床実習(23)
11	—
12	—
13	—
14	—
◆	—
15	—

評価方法	知識の習得・身だしなみ・参加意欲などを総合的に評価する。
授業の進め方	臨床に必要な知識の習得、施術見学、環境整備、施術準備(補助)などを中心に行う。
注意 (学生に望むこと)	積極的に実習に参加してもらいたい。
テキスト・参考書	なし

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	山内 明美	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年
科目名	社会学(半期)	曜日・時間	前期) 火曜日 10:50~

【授業概要・目標】
 現代社会で起きている多様な事象について、社会学理論を通じて問題分析する方法を学ぶ。本講義で取り上げるテーマは、みなさんが生きていく上で直面する問題かもしれません。自分の内側に問いを持ちつつ、積極的に参加してください。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	社会学とは何か？①
2	社会学とは何か？②
3	〈他者性〉とつながりの社会学
4	自我とアイデンティティの社会学
5	ストリートの社会学・格差と貧困をめぐって
6	ジェンダーの社会学・フェミニズムからクィアまで
7	SOGIをめぐる社会学-性の多様性-
8	家族社会学と〈子ども〉の誕生
9	権力とメディアの社会学-サイバーハウスマント-
10	消費社会と情報の社会学
11	グローバリゼーションとリスク社会①
12	グローバリゼーションとリスク社会②
13	ナショナリズムと戦争の社会学
14	総論 近代社会とは何か？
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
◆	
15	

評価方法	出席40点、最終レポート60点。
授業の進め方	講義形式、初回講義で受講学生数等確認の上、セッション等も検討する。
注意 (学生に望むこと)	現代社会の事象に関心を持ちつつ、講義へ参加して下さい。
テキスト・参考書	参考書 『社会を変えるには』 小熊英二 講談社現代新書

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	糟谷 俊彦	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年A組
科目名	按摩マッサージ指圧応用実技Ⅱ	曜日・時間	火曜日 13:10～

【授業概要・目標】

マッサージの手技を的確にできるようにする。治療に必要な矯正手技(関節モビライゼーション)を、知るようにし、臨床治療について、考えられるようにする。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	循環系、体性神経に及ぼす作用 上肢部、下肢部のマッサージ
2	自律神経系、マッサージの五作用 臀部、背腰部のマッサージ
3	興奮、鎮静、反射作用 頭部、頸部、胸部のマッサージ
4	誘導作用、矯正法 腹部のマッサージ
5	皮膚、筋肉、関節に及ぼす作用 上肢のマッサージ、関節モビライゼーションについて
6	消火器系、呼吸器、泌尿器、運動療法目的 下肢マッサージ、モビライゼーション、注意事項
7	運動療法の留意、臀部のマッサージ モビライゼーション・指関節
8	他動運動、自動運動、腰背部のマッサージ、 モビライゼーション・手根中手関節、手関節
9	抵抗運動、頭部のマッサージ モビライゼーション・手関節
10	矯正法、伸張運動法、頸部マッサージ、 モビライゼーション・尺骨
11	胸部のマッサージ、
12	腹部のマッサージ、
13	前期試験(筆記試験)
14	前期試験(実技試験)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	モビライゼーション・趾関節、足根中足関節、
2	モビライゼーション・楔舟、距舟関節、 距腿、距骨下関節
3	モビライゼーション・膝関節、股関節
4	モビライゼーション・仙骨、腰椎、 胸椎、肋骨
5	モビライゼーション・頸椎、間接法について
6	モビライゼーション・直接法復習、 間接法
7	モビライゼーション・直接法復習、 間接法
8	モビライゼーション・直接法復習、 間接法
9	モビライゼーション・直接法復習、 間接法
10	モビライゼーション・直接法復習、 間接法
11	モビライゼーション・直接法復習、 間接法
12	モビライゼーション・直接法復習、 間接法
13	後期試験(筆記試験)
14	後期試験(実技試験)
15	評価点検

評価方法	実技試験(70%) 筆記試験(30%) 合計65点以上 合格
授業の進め方	マッサージ、関節モビライゼーションの実技を主とし、実技に対する座学を含める
注意 (学生に望むこと)	マッサージ、関節モビライゼーションを理解し、臨床に応用できるようにする
テキスト・参考書	あん摩マッサージ指圧実技(基礎編)、

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

ノマドワーク

ノンスラストによる関節モビライゼーション(緑書房)

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	三保 翔平	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年B組
科目名	按摩マッサージ指圧応用実技 I	曜日・時間	火曜日 13:10～

【授業概要・目標】

側臥位の施術の習得。その他、手技の応用技術を深める。

<前期>	
回	授業テーマ
1	あん摩の基礎の復習
2	教科書の復習 肩背部
3	教科書の復習 腰部
4	教科書の復習 上肢
5	教科書の復習 頸部、頭部
6	教科書 胸腹部
7	側臥位 肩背部
8	側臥位 肩背部
9	側臥位 上肢
10	側臥位 上肢
11	側臥位 腰部
12	前期試験に向けての練習
13	前期試験 前半
14	前期試験 後半
15	評価点検

<後期>	
回	授業テーマ
1	前期の復習
2	側臥位 下肢
3	側臥位 下肢
4	側臥位 頸部
5	側臥位 頭部
6	肩こりの施術
7	腰痛の施術
8	頸肩痛の施術
9	腰下肢痛の施術
10	頭痛の施術
11	内臓疾患の施術(経脈の復習)
12	後期試験に向けての練習
13	後期試験 前半
14	後期試験 後半
15	評価点検

評価方法	授業の実技の取り組む姿勢、定期試験。
授業の進め方	理論と実技を組み合わせる。
注意 (学生に望むこと)	授業時間外の練習。
テキスト・参考書	『あん摩マッサージ指圧実技<基礎編>』 配布資料

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	佐藤 捷	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年
科目名	運動学	曜日・時間	火曜日 14:50～

【授業概要・目標】
 解剖学と物理学の立場から生きている人体の動きを観察・分析し、臨床へつなげるのがキネシオロジーである。
 リハビリテーション医学の土台の1つを、くわしく解説する。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	[はじめに][総論] 第1. 運動学の位置、目的
2	運動の分類、関節運動、観察
3	運動の面・軸・方向、表記法
4	[各論]第1. 運動の制御 ①筋収縮
5	②筋力 ③随意運動 ④体力
6	第6-1. 姿勢 ①重心・安定性
7	②神経機構
8	第6-2. 歩行 (2)歩行 (3)分析
9	(4)歩行周期
10	(5)スライドの内容
11	(6)運動学的分析(参)小児の歩行
12	(9)異常歩行(a)
13	(9)異常歩行(b)
14	(10)高齢者の歩行
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	第4. 生体力学 基礎(1)(2)
2	(1)運動の法則 (2)てこの原理
3	中間小試験、復習
4	第5. 関節の運動学 総論 上肢(1) 肩部(a)
5	(1)肩部(b)
6	(2)肘・前腕
7	(3)手部
8	下肢 (2)骨盤 (3)股関節(a)
9	(3)股関節(b)
10	(4)膝関節
11	(5)足部・足関節
12	体幹 (1)脊柱の役割
13	(2)～(3)頸椎・胸椎の運動
14	(4)腰椎の運動
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	1. 定期試験 2. 小テスト 3. すばらしい反応への持点
授業の進め方	講義形式であるが、課題・問答もとり入れる
注意 (学生に望むこと)	解剖学を十分に学習しておくこと。板書中心に行うので正しくノートする事。
テキスト・参考書	1. 佐藤著「キネシオロジーノート・抜粋版」を資料として配布する。 2. 解剖学の教科書(参考書)

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	煙山 貴之	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年
科目名	臨床医学総論	曜日・時間	水曜日 9:10～

【授業概要・目標】 東洋療法を実践するうえで必要な臨床医学全般についての知識を修得する。
--

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション
2	診察の概要
3	医療面接
4	視診・触診・打診・聴診
5	生命徴候
6	全身の診察-1
7	全身の診察-2
8	全身の診察-3
9	局所の診察-1
10	局所の診察-2
11	局所の診察-3
12	神経系の診察-1
13	神経系の診察-2
14	神経系の診察-3
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	運動機能検査-1
2	運動機能検査-2
3	運動機能検査-3
4	女性・小児・高齢者の診察
5	臨床検査法-1
6	臨床検査法-2
7	おもな症状の診察法-1
8	おもな症状の診察法-2
9	おもな症状の診察法-3
10	おもな症状の診察法-4
11	おもな症状の診察法-5
12	おもな症状の診察法-6
13	治療学
14	臨床心理
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	筆記試験
授業の進め方	講義形式であるが、対話的に行う。
注意 (学生に望むこと)	解剖学・生理学を復習したうえで授業に臨む。
テキスト・参考書	臨床医学総論

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	宮田 正則	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年A組
科目名	按摩マッサージ指圧応用実技Ⅲ	曜日・時間	水曜日 10:50～

【授業概要・目標】
 指圧全身治療法の習得。覚える為には反復練習あるのみ。1年間で3回、反復練習を行いたい。1回目は施術法を覚える。2回目は圧の方向、施術順の意味、等各施術の意義を確認しながら行う。3回目はより細かく、TEXTに無い部位の施術法も教える。圧する時の姿勢、心構えも覚えてもらいたい。座学は10分程度で、出来るだけ実技の時間とする。各部位施術の際には入れて話したい。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	圧す姿勢の確認(どのような姿勢、腕の状態で圧せば良いか)
2	圧法の基本の確認、圧の程度、長さ、間隔の確認。2線の押し方。全身施術、脊柱棘突起の触診
3	全身施術、軽擦→棘突起触診→背部伸展→脊柱手掌圧→母指圧迫(背部)→骨盤上縁→臀溝→下肢
4	全身施術、前回の復習、肩部の施術
5	全身施術、前回の復習、伏臥位、頸部の施術
6	全身施術、前回の復習、頭部→頸部の施術
7	全身施術、前回の復習、上肢の施術→運動法(これで伏臥位施術終了)
8	全身施術、伏臥位施術の復習、仰臥位、前頸部の施術
9	全身施術、前回の復習、顔面部施術
10	全身施術、前回の復習、仰臥位、上肢→下肢の施術
11	全身施術、前回の復習、腹部の施術
12	全身施術、前回の復習、仕上げ施術
13	実技テスト、全身施術反復練習
14	反復練習、2回目開始 脊柱棘突起触診の意味
15	評価点検 全身施術(チェック項目を確認しながら)

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	腰痛の発生機序 腰部→下肢の施術
2	圧の方向 肩→頸部
3	赤門祭対策 …全身施術の簡略形の練習
4	赤門祭対策…側臥位での全身施術
5	前頸部治療の注意点 前頸部の施術
6	顔面部施術の注意点 顔面部施術
7	上肢・下肢施術の注意点 上肢→下肢の施術(より細かい)
8	臀部・大転子・足底部の施術 大腿→下肢→足底の施術
9	下肢中心の施術(30分程度で行う)
10	上肢中心の施術(30分程度で行う)
11	側臥位での上肢の施術
12	側臥位での下肢への施術
13	実技試験
14	これまでで足りなかった部分を行う
15	評価点検 全身施術(チェック項目を確認しながら)

評価方法	施術姿勢、習熟度。
授業の進め方	一步通行にならないよう、対話形式で行う。
注意 (学生に望むこと)	施術手順のみで無く、それぞれの手技の意味、施術している部位の意味、等を学んでほしい。
テキスト・参考書	プリント使用

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	佐藤 光恵	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年B組
科目名	按摩マッサージ指圧応用実技Ⅲ	曜日・時間	水曜日 10:50～

【授業概要・目標】

指圧治療法で全身施術を習得できることを目標とする。
 反復して行うことで、全身施術できるという自信と、患者の状態にあった押圧を行えるようにする。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション、1学年復習
2	治療の流れ、施術上の注意
3	背部施術(伏臥位1～11)
4	前回の復習 肩背部施術(伏臥位12～15)
5	前回の復習、 頭頸部・上肢施術(伏臥位16～23)
6	前回の復習 頭頸部(仰臥位24～27)
7	前回の復習 頭頸部(仰臥位28～33)
8	前回の復習 上肢(仰臥位34～37)
9	前回の復習 下肢(仰臥位38～41)
10	前回の復習 腹部(仰臥位42、座位43)
11	前回の復習、 全身施術(時間を計測)
12	全身施術(時間を計測)
13	実技試験・全身施術(時間を計測)
14	実技試験・全身施術(時間を計測)
15	評価点検・全身施術

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	前期復習・全身施術
2	背腰部
3	背腰部
4	上肢
5	下肢部
6	下肢部
7	頸部・肩上部
8	顔面部・頭部
9	側臥位の施術
10	側臥位の施術
11	全身施術(時間を計測)
12	全身施術(時間を計測)
13	実技試験・全身施術
14	実技試験・全身施術
15	評価点検・後期復習

評価方法	実技試験、授業態度。
授業の進め方	プリントを使用し、部位ごとに反復して進めていく。
注意 (学生に望むこと)	反復練習に重点を行うため、術者役・患者役がコミュニケーションを取りながら授業中は無駄なく積極的に取り組むこと。
テキスト・参考書	プリント使用

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	神成 有己	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年
科目名	東洋医学各論 I	曜日・時間	水曜日 13:10～

【授業概要・目標】
 五臓六腑の生理機能と相互関係への理解と東洋医学的観点から病に至るまでの変遷について理解する。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	陰陽五行学説の復習
2	陰陽五行学説の復習
3	生体物質の復習
4	肝・胆の生理作用・病証①
5	肝・胆の生理作用・病証②
6	心・小腸の生理作用・病証①
7	心・小腸の生理作用・病証②
8	脾・胃の生理作用・病証①
9	脾・胃の生理作用・病証②
10	肺・大腸の生理作用・病証①
11	肺・大腸の生理作用・病証②
12	腎・膀胱の生理作用・病証①
13	腎・膀胱の生理作用・病証②
14	前期の復習・まとめ
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	心・脾・肝の相互関係、 心・肺・脾の相互関係
2	肺・脾・腎の相互関係、 脾・肝・腎の相互関係
3	肺・脾・肝の相互関係、 心・脾・腎の相互関係
4	六腑の協調関係、全身の気機
5	病因病機
6	病因病機
7	伝変と波及
8	伝変と波及
9	八綱弁証
10	経脈弁証
11	経脈弁証
12	六経弁証
13	衛気営血弁証、三焦弁証
14	後期の復習・まとめ
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	定期試験の点数
授業の進め方	板書、パワーポイント、配布資料にて進める。
注意 (学生に望むこと)	東洋医学への知識・興味が身に付き始めていると思う。積極的に授業に参加し、板書も記録しておくことと良い。プリントなどもなるべく失くさないこと。
テキスト・参考書	東洋医学概論

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	浦山 きか	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年
科目名	漢文学(半期)	曜日・時間	前期) 水曜日 14:50～

【授業概要・目標】	
1) 歴史的な中国語を漢文として読む際の知識を得る。	
2) 1)を運用して医古文を読むことができる。	
3) 医古文を扱う際のルールを理解して身につける。	

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	概説と医古文の実際に触れる
2	『靈枢』について (テキスト第一章、第二章)
3	漢和辞典について(テキスト第三章)
4	短文を読む その1 (テキスト第六章 1～3)
5	短文を読む その2 (テキスト第六章 4)
6	鍼灸書と医古文読解の実際 その1 (テキスト第六章から)
7	短文を読む その3 (テキスト第六章 5～7)
8	鍼灸書と医古文読解の実際 その2 (テキスト第七章)
9	短文を読む その4 (テキスト第六章 8)
10	鍼灸書と医古文読解の実際 その3 (テキスト第八章から)
11	短文を読む その5 (テキスト第六章 9)
12	短文を読む その6 (テキスト第六章 10～11)
13	短文を読む その7 (テキスト第六章 12～13)
14	鍼灸書と医古文読解の実際 その4 (テキスト第八章から)
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
◆	
15	

評価方法	ペーパー試験8割、提出物2割。
授業の進め方	原則としてテキストを用いる。
注意 (学生に望むこと)	予習復習を怠らないこと。授業時間内で当該時間部分が終了しないことがある場合、当該部分のダイジェストとなる場合が想定されるが、残った部分は自習となるのでこれも怠らないこと。
テキスト・参考書	『漢文で読む『靈枢』(増補改訂版)』浦山きか著 アルテニシア

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

ノ下ハ「」ヲカキ

『天入し誠心』並に『相州収訂版ノ』州山ニカク有、ノルノミノ。

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	武藤 永治	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年
科目名	東洋療法診断法Ⅱ(半期)	曜日・時間	後期) 水曜日 14:50～

【授業概要・目標】	
授業概要: 鍼灸マッサージの臨床において問診および診察(観察検査)を正しく行うことによって、適切な施術ができるようにすることを目的に学んでいく。 また、臨床において施術者患者関係が良好に形成されるように心がける。	

<前期>	
回	授業テーマ
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
◆	
15	

<後期>	
回	授業テーマ
1	問診・診察総論
2	頭痛の病態と問診
3	頭痛の診察(観察検査)
4	座骨神経痛の病態と問診
5	座骨神経痛の診察(観察検査)
6	膝関節痛の病態と問診
7	膝関節痛の診察(観察検査)
8	頸・上肢痛の病態と問診
9	頸・上肢痛の診察(観察検査)
10	五十肩の病態と問診
11	五十肩の診察(観察検査)
12	経絡テストの基礎
13	経絡テストの臨床応用
14	医療面接とその評価法
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	定期試験の結果をもってその学期の評価とする。
授業の進め方	テキストを基にプレゼンテーションで補足説明する形式で講義する。
注意 (学生に望むこと)	各疼痛の病態について理解したうえで授業に参加して欲しい。
テキスト・参考書	『鍼灸臨床問診・診察ハンドブック』 医道の日本社

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	古川 雄一郎 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年
科目名	臨床医学各論 I	曜日・時間	木曜日 9:10～

【授業概要・目標】 各疾患についての疫学、成因、症状などを学習する。
--

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	感染症 I
2	感染症 II
3	感染症 III
4	消化器疾患 I
5	消化器疾患 II
6	消化器疾患 III
7	消化器疾患 IV
8	肝・胆・膵疾患 I
9	肝・胆・膵疾患 II
10	肝・胆・膵疾患 III
11	呼吸器疾患 I
12	呼吸器疾患 II
13	呼吸器疾患 III
14	前期復習
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	腎・泌尿器疾患 I
2	腎・泌尿器疾患 II
3	腎・泌尿器疾患 III
4	内分泌疾患 I
5	内分泌疾患 II
6	代謝・栄養疾患
7	循環器疾患 I
8	循環器疾患 II
9	循環器疾患 III
10	循環器疾患 IV
11	血液・造血疾患 I
12	血液・造血疾患 II
13	血液・造血疾患 III
14	後期復習
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	筆記試験
授業の進め方	板書・配布資料 教科書に基づいてプリントを進めるが、学習状況により内容が前後したり、変更したりすることがある
注意 (学生に望むこと)	身体の構造と機能をもとに疾患の理解を深める
テキスト・参考書	テキスト:臨床医学各論 参考書:病気がみえる

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	伊東 太郎 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年A組
科目名	鍼灸応用実技Ⅱ	曜日・時間	木曜日 10:50～

【授業概要・目標】

- (1) 要穴による取穴・治療ができるようになる。
 (2) 代表的な体表指標がとれるようになる。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	刺鍼の基本実技復習(1)
2	施灸の基本実技復習(1)
3	刺鍼の基本実技復習(2)
4	施灸の基本実技復習(2)
5	体表指標の取り方と背部愈穴(1)
6	体表指標の取り方と背部愈穴(2)
7	体表指標の取り方と募穴(1)
8	体表指標の取り方と募穴(2)
9	中間実技試験
10	原絡配穴法(1)
11	原絡配穴法(2)
12	原絡配穴法(3)
13	実技試験の練習
14	前期実技試験
15	評価・点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	前期実技試験の復習
2	鍼灸の補瀉説明と実技
3	灸頭鍼
4	皮内鍼
5	六十九難の取穴と施術(1)
6	六十九難の取穴と施術(2)
7	六十九難の取穴と施術(3)
8	中間実技試験
9	六十九難の取穴と施術(4)
10	六十九難の取穴と施術(5)
11	六十九難の取穴と施術(6)
12	六十九難の取穴と施術 まとめ①
13	実技試験の練習
14	後期実技試験
15	評価・点検

評価方法	実技試験(70%)＋中間実技試験(15%)＋課題(15%)で評価。
授業の進め方	講義30分と実技60分のペースで授業をしていく。
注意 (学生に望むこと)	(1) ていねいに刺鍼・施灸の練習をすること。 (2) あいさつ・言葉遣い・身なりに気を付け、授業後は実技教室の掃除をすること。
テキスト・参考書	『新版 経絡経穴概論』(医道の日本社)・配布プリント

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	古川 雄一郎 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年B組
科目名	鍼灸応用実技Ⅱ	曜日・時間	木曜日 10:50～

【授業概要・目標】 ・代表的な体表指標がとれるようになる。 ・要穴の正確な取穴ができるようになる。 ・丁寧な刺鍼、施灸ができるようになる。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	刺鍼・施灸の基本実技確認
2	体表指標の復習
3	体表指標の取り方と背部愈穴 ①
4	体表指標の取り方と背部愈穴 ②
5	体表指標の取り方と背部愈穴 ③
6	体表指標の取り方と背部愈穴 ④
7	体表指標の取り方と背部愈穴 ⑤
8	前期中間実技試験
9	原絡配穴法 ①
10	原絡配穴法 ②
11	原絡配穴法 ③
12	原絡配穴法 ④
13	原絡配穴法 ⑤
14	前期実技試験
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	前期実技試験の復習
2	鍼灸の補瀉説明と実技
3	難行六十九難の説明と実技
4	六十九難の取穴と施術 ①
5	六十九難の取穴と施術 ②
6	六十九難の取穴と施術 ③
7	六十九難の取穴と施術 ④
8	六十九難の取穴と施術 ⑤
9	六十九難の取穴と施術 ⑥
10	後期中間実技試験
11	五愈穴・五要穴の取穴と施術 ①
12	五愈穴・五要穴の取穴と施術 ②
13	五愈穴・五要穴の取穴と施術 ③
14	後期実技試験
15	評価点検

評価方法	前期:実技試験による、後期:実技試験による その他:出席状況、授業態度なども考慮する
授業の進め方	教科書・シラバスに基づいて進めるが、学習状況により内容が前後したり、変更したりすることがある
注意 (学生に望むこと)	(1)毎日、コツコツ練習をしてください。 (2)態度・言葉遣い・白衣汚れ・身なりに気を付け、授業後は掃除をすること。
テキスト・参考書	『新版 経絡経穴概論』(医道の日本社)

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	三保 翔平 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年
科目名	東洋療法診断法 I	曜日・時間	木曜日 13:10～

【授業概要・目標】
東洋医学の施術において必要となる診断法の習得。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	鍼灸臨床の流れ
2	基本的な問診の仕方
3	腰痛の主要疾患
4	腰痛の問診
5	腰痛の診察法
6	坐骨神経痛の主要疾患
7	坐骨神経痛の問診
8	坐骨神経痛の診察法
9	膝関節痛の主要疾患
10	膝関節痛の問診
11	膝関節痛の診察法
12	頸肩四肢痛の主要疾患
13	頸肩四肢痛の問診
14	頸肩四肢痛の診察法
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	四診の概要、望診
2	舌診
3	聞診
4	問診(主訴の聴き方)
5	問診(寒熱)
6	問診(飲食・睡眠)
7	問診(飲食・睡眠)
8	問診(情志・生活環境)
9	問診(身体各部位の症状・汗)
10	問診(疼痛)
11	問診(女性・既往歴・家族歴・小児)
12	切診(反応・切経)
13	切診(腹診)
14	後期の復習
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	定期試験の点数
授業の進め方	板書、パワーポイントの活用
注意 (学生に望むこと)	板書の記録
テキスト・参考書	前期:問診・診察ハンドブック、後期:東洋医学概論

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	山田 秀一郎	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年A組
科目名	按摩マッサージ指圧応用実技 I	曜日・時間	木曜日 14:50～

【授業概要・目標】

腹部あん摩、伏・側臥位での施術ができるようになる。臨機応変に対処できるようになる。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	一年時の復習(伏臥位後頸部より腰下肢までの流れ全体)
2	〃
3	腹部あん摩①
4	側臥位 肩背部施術(1)
5	肩こりに関する内容説明
6	伏臥位 肩背部施術
7	側臥位 上肢施術(2)
8	上腕痛に関する内容説明
9	側臥位 上肢施術 流注、取穴
10	側臥位 腰施術
11	腰痛に関する内容説明(3)
12	側臥位 腰施術 流注、取穴
13	伏臥位 腰施術・前期復習
14	実技試験
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	側臥位 下肢施術(4)
2	下肢痛に関する内容説明
3	側臥位 下肢施術 流注、取穴
4	側臥位 下腿施術(5)
5	側臥位 頸部施術
6	頸部疾患、症状の説明
7	側臥位 頸部施術 流注、取穴
8	側臥位 頭部施術(6)
9	頭部・症状疾患・流注、取穴と施術
10	全体復習(臨床応用)
11	〃
12	〃
13	〃
14	実技試験
15	評価点検

評価方法	授業(出席)態度、(施術姿勢、習熟度)、各試験での総合評価。
授業の進め方	臨床を目標に互いに施術役、受け役の状況にて見本手技の向上を図る。巡回しながら個々への指導。学生の理解度にて変更あり。
注意 (学生に望むこと)	実技が主となるため、積極的に復習し習得のための練習。
テキスト・参考書	あん摩マッサージ指圧実技(基礎編)、(東洋医学手技臨床論)、他プリント

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	糟谷 俊彦	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年B組
科目名	按摩マッサージ指圧応用実技Ⅱ	曜日・時間	木曜日 14:50～

【授業概要・目標】
 マッサージの手技を的確にできるようにする。治療に必要な矯正手技(関節モビライゼーション)を、知るようにし、臨床治療について、考えられるようにする。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	循環系、体性神経に及ぼす作用 上肢部、下肢部のマッサージ
2	自律神経系、マッサージの五作用 臀部、背腰部のマッサージ
3	興奮、鎮静、反射作用 頭部、頸部、胸部のマッサージ
4	誘導作用、矯正法 腹部のマッサージ
5	皮膚、筋肉、関節に及ぼす作用 上肢のマッサージ、関節モビライゼーションについて
6	消火器系、呼吸器、泌尿器、運動療法目的 下肢マッサージ、モビライゼーション、注意事項
7	運動療法の留意、臀部のマッサージ モビライゼーション・指関節
8	他動運動、自動運動、腰背部のマッサージ、 モビライゼーション・手根中手関節、手関節
9	抵抗運動、頭部のマッサージ モビライゼーション・手関節
10	矯正法、伸張運動法、頸部マッサージ、 モビライゼーション・尺骨
11	胸部のマッサージ、
12	腹部のマッサージ、
13	前期試験(筆記試験)
14	前期試験(実技試験)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	モビライゼーション・趾関節、足根中足関節、
2	モビライゼーション・楔舟、距舟関節、 距腿、距骨下関節
3	モビライゼーション・膝関節、股関節
4	モビライゼーション・仙骨、腰椎、 胸椎、肋骨
5	モビライゼーション・頸椎、間接法について
6	モビライゼーション・直接法復習、 間接法
7	モビライゼーション・直接法復習、 間接法
8	モビライゼーション・直接法復習、 間接法
9	モビライゼーション・直接法復習、 間接法
10	モビライゼーション・直接法復習、 間接法
11	モビライゼーション・直接法復習、 間接法
12	モビライゼーション・直接法復習、 間接法
13	後期試験(筆記試験)
14	後期試験(実技試験)
15	評価点検

評価方法	実技試験(70%) 筆記試験(30%) 合計65点以上 合格
授業の進め方	マッサージ、関節モビライゼーションの実技を主とし、実技に対する座学を含める
注意 (学生に望むこと)	マッサージ、関節モビライゼーションを理解し、臨床に応用できるようにする
テキスト・参考書	あん摩マッサージ指圧実技(基礎編)、

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

ノマドワーク

ノンスラストによる関節モビライゼーション(緑書房)

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	伊東 太郎 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年
科目名	病理学概論	曜日・時間	金曜日 9:10～

【授業概要・目標】 (1) 病理学の基本の習得 (2) 生理学の復習

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	第1章 病理学とはどのような学問か
2	第2章 疾病についての基本的な考え方
3	第3章 病因 (1)
4	第3章 病因 (2)
5	第3章 病因 (3)
6	第3章 病因 (4)
7	第3章 病因 (5)
8	第3章 病因 (6)
9	第4章 循環障害 (1)
10	第4章 循環障害 (2)
11	第4章 循環障害 (3)
12	第5章 退行性病変 (1)
13	第5章 退行性病変 (2)
14	前期学習内容の復習
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価・点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	第6章 進行性病変 (1)
2	第6章 進行性病変 (2)
3	第7章 炎症 (1)
4	第7章 炎症 (2)
5	第7章 炎症 (3)
6	第8章 腫瘍 (1)
7	第8章 腫瘍 (2)
8	第8章 腫瘍 (3)
9	第8章 腫瘍 (4)
10	第8章 腫瘍 (5)
11	第9章 免疫異常・アレルギー (1)
12	第9章 免疫異常・アレルギー (2)
13	第10章 先天性異常
14	後期学習内容の復習
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価・点検

評価方法	小テスト(30%)＋期末試験(70%)を総合して評価。
授業の進め方	・教科書の内容を中心にスライドで講義。 ・毎回の小テストで理解を深める。
注意 (学生に望むこと)	・A4ファイルを1冊用意すること。 ・分からないところはそのままにせず、調べてみる。
テキスト・参考書	『病理学概論』(東洋療法学校協会編)・配布プリント

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	國分 俊繁 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年A組
科目名	鍼灸応用実技 I	曜日・時間	金曜日 10:50～

【授業概要・目標】
臨床で必要な運動器疾患の理学所見と鑑別法、その疾患を学ぶ。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	総論(主訴、現病歴、カルテ、ROM)、病症について
2	腰痛-1
3	腰痛-2
4	坐骨神経痛-1
5	坐骨神経痛-2
6	坐骨神経痛-3
7	膝関節痛-1
8	膝関節痛-2
9	膝関節痛-3
10	頸・上肢痛-1
11	頸・上肢痛-2
12	頸・上肢痛-3
13	前期まとめ
14	前期実技試験
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	五十肩-1
2	五十肩-2
3	五十肩-3
4	五十肩-4
5	その他の疾患と検査-1
6	その他の疾患と検査-2
7	その他の疾患と検査-3
8	その他の疾患と検査-4
9	その他の疾患と検査-5
10	症例検討-1
11	症例検討-2
12	症例検討-3
13	後期実技試験
14	後期実技試験
15	評価点検

評価方法	実技試験の結果、出席・課題の提出状況による。
授業の進め方	教科書・デモンストレーションをもとに、解剖構造・検査の意義を確認しながら実技を行う。
注意 (学生に望むこと)	積極的に課題(ノート作成)に取り組み、構造や動きを理解すること。患者を想定し会話をしながら繰り返しの実技練習に取り組むこと。
テキスト・参考書	テキスト:問診・診察ハンドブック、配布プリント

2022年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	高橋 武彦 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 2年B組
科目名	鍼灸応用実技 I	曜日・時間	金曜日 10:50～

【授業概要・目標】
 鍼灸臨床の中で多く扱われている頸部、肩関節、腰部、膝関節部を中心に構造や傷害の発生のメカニズムを知り、問診法、鑑別診断力、局所への治療技術の基礎を身につける。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	身体診察・計測
2	関節可動域
3	頸部-1
4	頸部-2
5	肩部-1
6	肩部-2
7	肘部
8	前腕・手指
9	頸・上肢：鑑別法-1
10	頸・上肢：鑑別法-2
11	頸・上肢：鑑別法-3
12	頸・上肢：鑑別法-4
13	頸部・上肢総合-1実技試験
14	頸部・上肢総合-2実技試験
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	腰部-1
2	腰部-2
3	股関節・大腿部
4	膝-1
5	膝-2
6	下腿部・足部
7	腰・下肢：鑑別法-1
8	腰・下肢：鑑別法-2
9	腰・下肢：鑑別法-3
10	症例検討-1
11	症例検討-2
12	症例検討-3
13	症例検討-4実技試験
14	症例検討-5実技試験
15	評価点検

評価方法	出席、授業態度、口答・実技・筆記試験、課題提出の総合評価とする。
授業の進め方	授業のテーマを予習(解剖構造、検査法のノート作成)、授業でポイントを確認しながら実技の習熟度を高めていく。
注意 (学生に望むこと)	積極的に課題(ノート作成)に取り組み、構造や動きを理解すること。 患者想定で会話をしながら繰り返した実技練習に取り組むこと。
テキスト・参考書	問診診察ハンドブック、解剖学教科書、その他必要に応じて示指する。